

# 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

奈良市立平城西小学校

教諭 樋口 大介

## 1. 単元名

「秋篠川千本桜を愛し、受け継ぎチャレンジ隊！」

## 2. 単元について

本単元では、子どもたちにとって、地域のシンボルの一つである「秋篠川の桜」を扱う。ここで指す「秋篠川の桜」とは、奈良市中山町西2丁目周辺の桜並木のことである。「秋篠川の桜」は、「秋篠川の源流を愛し育てる会」（以下、育てる会）によって、平成10年に118本植樹され、現在は154本植樹されている。「育てる会」は秋篠川の自然を守るだけでなく、「秋篠川の千本桜」をキャッチフレーズに桜の植樹を通し、地域の「ふれあいの場」や「いこいの場」のようにまちづくりに取り組んでいる。しかし、「育てる会」の会員の高齢化などが理由で、発足当時のような規模での活動が困難になりつつあるのが現状である。「秋篠川の桜」を大切にしている人がいることだけでなく、守り、受け継ごうとしている人たちもいる。その存在や、携わる人たちの想いを知ることを通して、地域の未来について考え、これからも大切に守っていこうとする姿勢を養えると考え。また、毎年当たり前に見ることができる「秋篠川の桜」の課題を知ることによって、子どもたちが今できることは何かを考え、行動にうつせるようにしたい。

本学級の児童の半数は、「地域にはたからものがない」と感じている。事前アンケートで「地域のたからもの」についてアンケートをとった結果、（はい：13人、いいえ：18人）であった。また、はいと答えた児童のうち12人が「秋篠川」や「秋篠川の桜」について回答している。そこで、「秋篠川といえば？」という問いを設定しアンケートをとった結果、すべての児童が「桜」と回答した。最も身近であると考えられる「秋篠川の桜」を主な題材とすることで、地域に関わる人の想いや地域の未来について意図的に考え、行動に移せるようにしたい。そして、「秋篠川の桜」に関わる地域の人の熱い想いに触れることを通して、遺産を守る意義や方法について考えるきっかけになるようにする。

本単元では、導入として、「なぜ、秋篠川の桜は毎年、こんなにも綺麗に咲き誇るのだろうか。」という問いを設定する。当たり前のように見られる景色について見つめ直すことで、興味をもって調べ学習に取り組めるようにしたい。調べ学習は、夏休みの宿題として各自で行う。調べ学習は各自、テーマをもって取り組ませる。テーマは、現地に行って調べたり、地域の大人に聞き取ったりできるようなものにする。地域環境や人に関わるようにする。

次に、「育てる会」の会員の方の話聞く。「育てる会」の会員の努力や、地域に主体的に関わろうとする熱意に触れられるようにする。また、毎年、秋篠川の桜を見に来て喜んでくれる人がたくさんいることがやる気の源になっていることと同時に会員の高齢化などの理由で活動の規模を見つめ直さざるを得ない現状であることを知る。そうすることで、地域の遺産を守り続けていく意義や地域の未来について考えられるようにしたい。そして「これからもずっと綺麗に咲く桜は見られるのだろうか」という課題を設定する。そこで、秋篠川の桜を守り、受け継ごうとしている人々の思いや熱意を感じ、これからの学習で、遺産を守ったり、受け継いだりする意義について考えられるようにしたい。

調べたことや学んだことを家族に発表し、次の課題を設定する。知っているつもりだけれども知らないことが多いことや、地域のために実際に行動できることは何かを考えるきっかけにしたい。

本単元では、参観日での保護者の反応をもとに、課題を設定する。課題は、「身近な地域の人である保護者をはじめ地域の人に地域の魅力を知ってもらおう。」である。保護者にアンケートをとり、伝えるテーマを考えたり、地域の人を紹介してもらったりする。子どもたちと地域の人がつながりインタビューをしたり、伝えるテーマをもとに現地での調べ学習に取り組んだりする。地域の人との出会いをもとに自分たちが取り組めることに気づけるようにしたい。

最後に調べたことをまとめ家族をはじめ地域に自分たちの考える秋篠川の未来について発信する。また、来年度6年生になったときの春に秋篠川の桜の美しさを見て、最高学年になったという気持ちと、地域のためにできることをしようとする気持ちを胸に行動できるような姿勢を育てていきたい。

### 3.単元の目標

- 秋篠川の景観や環境を守ろうとしている人や大切にしている人がいることを理解する。(知識・技能)
- 友達と意見を交流することなどを通して、遺産を守っていくことの意義やそのための方法をわかりやすく伝えることができる。(思考・判断・表現力等)
- 秋篠川の源流や桜を守り、受け継ごうとしている人たちの思いを知ることを通して、地域の未来について考えこれからも大切に守っていこうとする。(学びに向かう力・人間性等)

### 4.主に関連する ESD の価値観

- ・春になると秋篠川に咲く綺麗な桜をこれからも大切にしたい(世代間の公正)
- ・秋篠川の自然環境や生き物を大切にしたい(自然環境・生態系の保全の重視)

### 5.主に関連する SDGs の目標

目標 11：世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。

### 6.単元の評価規準

ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現力等	ウ. 学びに向かう力・人間性等
1.秋篠川の景観を大切にしている人がいることを理解している。 2.秋篠川の景観や環境を守ろうとしている人がいることを理解している。	1.自分の考えをもち友達にわかりやすく伝え、意見を交流している。 2.友達と意見を交流することなどを通して、遺産を守っていくことの意義について考えわかりやすく伝えている。 3.友達と意見を交流することなどを通して、遺産を守って行く方法について考え、わかりやすく伝えている。	1.秋篠川の源流や桜を守り、受け継ごうとしている人たちの思いを知ることを通して、地域の未来について考え、これからも大切に守っていこうとしている。

7.単元の指導計画（全28時間）

次	時	主な学習活動	評価規準	ESD の視点	ESD の資質能力
① つかむ	1	○秋篠川の桜が毎年綺麗に咲くのはなぜか考え、学習の課題を見出す。  問：なぜ、秋篠川の桜は毎年、こんなにも綺麗に咲き誇るのだろうか。	イー1 【ワークシート】	相互性	クリティカル・シンキング
	2	○学習の計画をたて、学習の見通しをもつ 「秋篠川について調べよう」	イー1 【ワークシート】		
② 探究する		○夏休みの宿題で秋篠川について調べる。 「秋篠川について調べよう」 「秋篠川の素敵なところを家族や地域の人にインタビューしよう」	アー1 イー1 【ワークシート】		クリティカルシンキング
	3	○「秋篠川の源流を愛し育てる会」の方々の話を聞く。	アー2		
	4	【話の内容】	【ワークシート】		
	5	・活動当初の桜の本数・活動の内容 ・大切にしていること・活動を始めたきっかけ ・来年もきれいな桜をみたいかどうか ・その他子どもからの質問に答えてもらう。  問：これからもずっと綺麗に咲く秋篠川の桜は見られるのだろうか。			
6	○秋篠川の桜がこれからも見られるか考える。				
③ まとめ	7	○グループで学んだことや考えたことをまとめる。	アー1・アー2 イー2・ウー1 【ワークシート】		コミュニケーション力
	13				
14	○参観日で保護者に学んだことを発表する。	イー2 【発表】			
④ さらに探求	15	○参観日までの発表を通して次の課題を見出す。	ウー1 【ワークシート】		クリティカルシンキング
	16	○課題の解決とこれからの行動化に向けてグループに分かれる。 ・地域に携わる人とつながるグループ ・地域の環境や歴史についてさらに調べるグループ			

		平城西小学校区のために地域の一員として自分ができることを発信しよう。 ～「秋篠川千本桜を愛し、受け継ぎチャレンジ隊！」になろう～		
	17 ～ 21	○保護者にアンケートを取り、調べることで発信する内容や発信の方法を考える	ウー1  【発言】	システム ズシンキ ング
		課題：家族に地域の魅力や関わる人の想いをもっと伝えよう		
		○現地で調べ、伝えるための資料を集めたり、地域の人にインタビューをして自分たちにできることを考えたりする。  【調べること】 ・秋篠川の歴史や地域に関わる人の想いについて ・秋篠川の桜を残すために大切なこと、意義について ・地域について関わっていききたいこと ・これからの秋篠川の桜や地域について ・秋篠川の桜や魅力について	アー1 アー2 イー1 イー2 イー3 ウー1  【ワークシート】	公平性  コミュニ ケーショ ン力
④ 発 信 す る	22 ～ 28	○リーフレットを作成し、保護者に地域の魅力や関わる人の想いを知ってもらう。 ・秋篠川の桜を残すために大切なこと・意義について ・これから地域に関わっていききたいという思い ○地域の方の想いを受けて、地域のためにできることに取り組む ・地域の方から聞き取ったことをもとに、地域のために行動できることに取り組む。	アー1 アー2 イー1 イー2 イー3 ウー1  【リーフレット】	公平性  コミュニ ケーショ ン力